

献血実績

NO	日付	区分	場所	受付者数	献血者数	不献血者数	会員参加者
1	令和6年7月12日	職域	直方ガス	47	42	5	4
2	令和6年7月29日	学校献血	大和青藍高校	19	16	3	6
3	令和6年8月1日	職域	直方市役所	89	80	9	16
4	令和6年9月20日	職域	小竹町役場	25	21	4	4
5	令和6年9月22日	地域施設	イオンモール直方	115	99	16	16
6	令和6年11月26日	職域	アスカコーポレーション	27	24	3	6
7	令和6年12月18日	職域	直方市役所	80	73	7	15
8	令和7年1月8日	学校献血	大和青藍高校	32	24	8	3
9	令和7年1月19日	地域施設	イオンモール直方	116	113	3	12
10	令和7年1月29日	職域	小竹町役場	35	33	2	3
11	令和7年1月28日	職域	直方ガス	37	28	9	5
12	令和7年2月7日	学校献血	筑豊高校	20	18	2	7
13	令和7年2月12日	学校献血	直方高校	23	16	7	8
14	令和7年2月19日	学校献血	鞍手高校	43	31	12	6
15	令和7年2月19日	職域	九州住友ベークライト	24	23	1	3
16	令和7年3月19日	職域	直方市役所	59	55	4	6
17	令和7年5月13日	職域	アスカコーポレーション	32	29	3	3

新会員のご紹介



氏名 L富安 慶子
生年月日 昭和39年5月8日
会社名 株式会社安永青果
SPL.安永 信行
所属委員会 第二委員会



1Zの合同花見例会に参加して

毎年恒例の1ゾーン合同花見例会に出席しました。1ゾーンは仲の良い気の置けないクラブの集まりとして有名です。今年度は中間クラブの主催で開催されました。今回も大いに盛り上がりました。私は入会以来、毎年この合同花見例会に参加していますが、その年度に勢いのあるクラブが中心となって例会を盛り上げている様に感じます。ここ数年は我が直方クラブのリーダーシップのもとで合同花見例会が運営されてます。鞍手クラブ消滅後、新しくグローバルクラブが誕生して数年が経ちます。直方クラブはL渡邊に出向をお願いしておりますが会員が増えずご苦勞をされてます。今こそ勢いのある直方クラブが中心となり、1ゾーンの先頭に立ち、グローバルクラブを応援しなければと思います。そしていつの日か1ゾーンの合同花見例会がグローバルクラブ主導で開催される事を切に願います。

L篠田 雅孝



クラブ会報『年輪』633号 令和7年5月20日
編集/発行 直方ライオンズクラブ 第三委員会
福岡県直方市殿町7-50直方商工会議所ビル3F TEL0949-22-4530 FAX (0949) 22-4531
ホームページ▷<http://www.noogata-lions.com> メール▷office@noogata-lions.com

2025
5
May

No. 633



337-A地区 3R-1Z
直方ライオンズクラブ会報

年輪



絆深まる大阪の旅



会員とご家族19名の参加による1泊2日の大阪懇親旅行が盛況のうちに終了した。

旅の初日はなんばグランド花月を訪れ、吉本新喜劇の公演を鑑賞。初めて生の漫才や新喜劇を見た会員もいて、とてもリラックスした表情で笑いを共有した。夕食は大阪の名物スポット通天閣が建つ新世界で串かつやどて煮を堪能。普段は交わせない話題で会話が弾み、和やかな雰囲気になった。

2日目は今回のメインである大阪万博へ。夢洲駅を降りた瞬間からの人の多さと、荷物チェックの待ち長さにより「並ばない万博」なんてことを最初に言った奴は一体誰なんだ？という事ばかりを考えながらようやく入場。一番の懸念事項であった「19名を4班に振り分けての万博見学」も、新幹線車内のくじ引きで決まったメンバー同士の結束力が光り、L山喜多洋志が事前に購入していた万博MAPでシュミレーションしながら「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした各国のパビリオンを周ることで、全員が強い関心を示したようだった。

因みに私の班はL川口、L篠田、L宮本、L矢野という重鎮の方々が選ばれたのだが、何よりも私個人が目的としていた「究極のえきそば(3,800円)」を食べたいがばかりにそのお店近くのパビリオンを見学し、たまたまそこに近づいたようなそぶりを見せ、まだ11:00を少し回ったくらいにお店に入りそばを5杯注文した。案の定L川口とL宮本はそばの上に乗った神戸牛だけを食べ「満足です」と仰った。

一方で、万博を満喫するために食べることは後回しでパビリオンをたくさん周る！と昼食を我慢した班もあったようだ。そのせいで帰りの新大阪駅でお腹が空すぎた山喜多廣子ライオンは、たこ焼きを20個以上食べた聞き、あの究極のえきそばを食べてもらいたかったなと心の中で思った。

帰路に着く中、飯野剛士ライオンがLINEでつぶやいた言葉が心に響いた。「旅はどこへ行くかよりも誰と行くかが大事」。この言葉に2日間の思い出と満足感が溢れた。既に親密な関係を築いていながらも、旅を共にすることでさらに深まる絆の不思議さを実感した。普段から仲が良いメンバー同士だからこそ、旅行の価値が高まったのかもしれない。

この充実した懇親旅行の経験を胸に、より一層結束を強め、「We Serve」の精神で地域社会への貢献を続けていく。どこへ行くかよりも、共に歩む仲間がいることの大切さを改めて感じた旅であった。

幹事 L森本 隆
結成年月日:1958.5.10 チャーターメンバー:38名 国際番号:024048 チャーターナイト:1959.3.7
SPクラブ:福岡LC 日本順位:76番目



今年最初の例会と言うことで新年例会が、1月7日に開催されシェブロン賞の表彰や長寿祝いが行なわれました。また、新年会を兼ねた例会となり会員みんな楽しく食事やお酒を楽しむことが出来ました。執行部のみなさん、ご準備ありがとうございました。私は、今年年男で同じ巳年の戸次ライオンと私で、みなさんの前でご挨拶をさせていただきました。グループラインのアルバム写真を見ていただければわかると思いますが、非常に皆さんの笑顔が素晴らしく雰囲気の良い楽しい新年例会となりました。

Ｌ飯野 剛士



「継続は力なり」といいます。一方でマンネリ化することも。直方LCの「書き初め大会」は、常に現状を踏まえた、新しいチャレンジに支えられています。コロナ禍での中断。郵送方式の採用。会場の変更や市との連携など、毎年新しいチャレンジが積み重ねられてきました。少子化の影響もあり、やや参加者が減っている。中村純一委員長を中心に、議論を重ねます。新たに鞍手町の小中学校に参加を呼び掛け、直方市内の「市報」に案内を同封し、周知を図りました。その結果応募児童・生徒数は120名（インフルなどのために当日は99名。残念）となりました。

当日の参加者はやや緊張した真剣な面持ち。授業で習った文字が出題されます。日頃の学びが生かされます。文字の巧拙だけではなく、新年の決意を筆に込めました。

表彰式は1月19日（日）、直方イオンで開催されました。大きな施設で、毎年制約が微妙に変わります。中村委員長の地道な交渉と綿密な計画の賜（たまもの）です。準備は開店前、8時集合で、従業員さんの出入り口から入店し、10時開店前に終えねばなりません。28名のライオンが手際よく作業を展開していきます。チョコちゃんに叱（しか）られそうな方は見当たりません。

表彰式は受賞者34名、来賓9名、ライオン22名の参加者でした。鞍手高校のパフォーマンスを見ようと、ホールの2階からも大勢の方が見守っています。大成功。盛大な拍手でした。変わって表彰式は厳粛な雰囲気です。思い出に残るよい緊張感だと思います。ご家族も多く見えています。ご家族での写真撮影は楽しそうでした。



キャビネット主催で337-A地区合同のGATフォーラムが2月3日八仙閣にて開催されました。直方ライオンズクラブからは、L 森本隆、L 永松竜、L 飯野剛士の3名が参加致しました。まず、GAT（グローバル・アクション・チーム）とは、世界的な会員減少に対処するための支援チームで、新クラブ結成や新会員を加えたクラブ活性化や親睦と興味深い奉仕で既存会員の意欲を高める役割を担っているチームの略称です。今回のフォーラムでは、今までの研修と違い「奉仕活動」のアイデアを生むための研修会や会員の金銭負担を軽減する為の「資金獲得」の研修会が行われ新しい目線での事業資金獲得の考え方を学ぶことが出来ました。あらゆる人が活躍する場を設定することで、より多くの人が参加し、より多くの奉仕活動により奉仕する側のクラブ会員の満足度が高まり、それによって自分のクラブが、より活性化するという希望の持てるフォーラムでした。



二月の第二例会では卓話の講師として刈り子様をお招きし「接遇・接待・おもてなし」の観点からご講話を頂きました。お客様への接客術、おもてなし術、そして従業員やスタッフへ向けての教育の大切さなど、元客室乗務員のご経験と現在の勤務先であるサンリブでのご経験を活かした独自の観点からの内容で非常にわかりやすくご清聴させて頂くことができました。今回の卓話を通してメンバーのお一人おひとりの心に何かしら通ずるものがあつたかと思わせて頂く時間となりました。「原点に振り返ろう！」そのような気持ちにさせて頂ける貴

『子どもたちの笑顔のために送ろう！ヘアードネーション』

『つな髪R』とは抗がん剤治療や脱毛症等、髪に悩みを持つ子どもたちに寄付で集められた髪を使って「医療用ウィッグ」を作り、無償で提供するプロジェクトです。

『つな髪R』という名前には、ウィッグを必要とする子どもたちと誰かのために役立ちたい人を“髪の寄付”によって繋げ、そして寄付した一人一人の行動が次の人へと“繋がりを”、活動の輪が広がってほしいという願いが込められています。

- ヘアードネーション（31cm以上の長さ）の流れ
- ①髪を3本～5本の束に分けて輪ゴムでしっかり留める
 - ②髪を輪ゴムで止めた場所より1cm上からカット
 - ③カットした髪を束ねる
 - ④直方ライオンズクラブへ送付

- * 提供できる髪
 - * 提供できない髪
 - 白髪・ブリーチ・縮毛・くせ毛・パーマ
- 美容室や知人へご依頼願います。

会長 L.川口 克代

会員増強セミナー

1月17日（金）アクロス福岡にて開催されたMD337会員増強セミナーに参加いたしました。世界的に会員数が減少している今どのような取り組みが必要か、一般社団法人日本ライオンズ 前理事長 田名部 智之 氏より講話をいただきました。L.田名部がガバナー時代に多くの新クラブやクラブ支部を立ち上げた体験を聞かせてもらいました。その中で心に残っているのは「できるかできないか」ではない「やるかやらないか」だと言う言葉です。結局会員増強も「やるかやらないか」色々できない理由を考えるより行動に移すことが大事と教えて頂きました。ライオンズクラブでは現在134万人の世界の会員数を2027年7月1日までに150万人に増やすことを目指す取り組み、ミッション1.5（ワン・ポイント・ファイブ）に取り組んでいます。会員が増えればより多くの人に奉仕できるということです。当クラブでも今期会員純増2名を目標に頑張っていますがまだ目標未達です。今後も奉仕の仲間が増える